

# 福井米のブランド化を目指して 「こだわり米の販売力強化とポストこしひかりの開発」

米のトップブランド「コシヒカリ」が、福井県で誕生してから、57年が経ちます。

県では、「コシヒカリのふるさと」として、「5月半ばの適期田植え」などの品質を高める取り組みを推進。結果、平成25年2月に公表された日本穀物検定協会食味ランキングで「特A」を獲得するなど、福井県産のコシヒカリが高く評価されています。

## 販売力を高める

県は、有機栽培米や特別栽培米で「こだわり」を持つて栽培した「こだわり米」に「ぼん」のふるさと福井「厳選米」として登録。ロゴマークとして登録。ロゴマークと「ぼん」のふるさと福井」を商標登録しました。



「ぼん」のふるさと福井 厳選米

このロゴマークは、福井米の高い品質を示すクオリティ(Quality)のQをモチーフに、日本の原風景が残る「ふるさと福井」、豊かな自然や水田をイメージした緑色をベースに、米粒をデザインしたものです。

現在51種類の「こだわり米」を登録し、この統一ロゴマークを付けて県外でのイベント等でのPRや営業活動を実施。大都市圏の百貨店や米穀専門店などでも販売しています。

本県の統一ロゴマークは、

大勢の方に試食してもらっただけの量がないため、米の食味に関する化学的な分析で評価しています。



米の成分分析

また、これまでに選別したものから、米の成分調査等で、明らかに形質の劣るものを除いて、今年度末には、100種まで選抜を進めます。

## 消費者の嗜好を調査

さらに選別を進める上で、消費者の声を聴くことが大切です。県内では、これから消費の中心となる学生などの若い世代や、料理の材料を選ぶ栄養士や料理人、都市圏でも一般の方に、米の嗜好調査を実施。

「高品質なこだわり米の証」。全国の消費者からそのような評価がいただけるよう、品質にこだわりつつ、PRを進めていきます。

## 理想の新品種を開発

福井米の品質と食味をさらに向上させ、ブランド化を図るため、コシヒカリを超える新品種「ポストこしひかり」の開発を進めています。

県が目指す「ポストこしひかり」の品種は、次の条件を満たしたものです。

- ①「おいしい」  
消費者の好みにあった味わいのある品種
- ②「作りやすい」  
倒伏しにくく、近年の夏の暑さでも品質が悪くならない品種



東京での嗜好調査(南青山291にて)

千名以上の方の意見から、「おいしい」を構成する要素として、「甘み」や「弾力」などが重要な役割を果たすことがわかってきました。

## コシヒカリを超える品種に

来年度は、実際に試食して、香り、味、粘り、硬さ、甘みや弾力といった食味を評価。10種まで絞り込む予定です。

さらに、新品種開発と同時に環境にやさしく、生産者にとって作りやすい、安定的な栽培方法の研究に着手します。

平成27年度からは、2年かけて、消費者の皆さんのご意見や米の流通業者、有識者の方から意見を聞きなが

## ③「環境にやさしい」

病気に強く、有機質肥料で安定して栽培できる品種  
これらの条件を満たすことで、地球温暖化の影響にも左右されない、強くておいしいお米が誕生すると考えています。



ポストこしひかりの田植え

## スタートは20万種から

「ポストこしひかり」の開発は、平成23年に異なる性質を持つ20万種の種を植え

「ポストこしひかり」候補品種を選抜し、平成29年までに品種登録出願を行います。

新しい品種を選抜するためには、イネの強さ、お米のおいしさなどの品質にばらつきがないよう、分析や調査を重ねる必要があります。そのため、品種開発には長い期間がかかります。

県では、テレビや新聞、各種イベント等を通じて研究過程や開発の取り組み状況を紹介。



イネの花の観察体験授業

品種候補が絞られてくる平成27年度以降は、消費者の皆さんに試食して頂くイベントを県内各地で開催す



ポストこしひかり候補の生育調査

付けることからスタート。

水田では、イネの背丈や、穂が出る時期(出穂期)、穂の長さを調査し、倒れにくいなど優れた性質のものを選んで刈り取り。収穫したイネからDNAを抽出し、いもち病などの病気に強い遺伝子を持つものを調査し、1万2千種まで絞りこみました。猛暑のさなかに、穂が出て米が成熟すると一般的には

など様々な企画を実施する予定です。皆さんのご協力をお願いします。

## 県民の誇りとなる福井米へ

県は、福井米のさらなる品質向上と研究、大都市圏での販路開拓を進め、おいしい福井米のブランドイメージを全国に広げていきます。本県がブランド化を進める「こだわり米」や「ポストこしひかり」は、生産者が力を合わせ、その水準を守ってはじめて、消費者から評価されます。

「ポストこしひかり」の販売開始に向け、「層高い評価を得られるよう、栽培方法などの技術力を高め、品質にこだわったおいしいお米であることをPRします。そして、全国に自慢できる日本一のブランド米に育てたいと思います。

☎水田農業経営課  
0776・20・0431

☎農業試験場  
0776・54・5100